

~~~~~  
学 会 消 息  
~~~~~

(2017年1月～12月)

○総 会

日 時 5月24日（水） 教授会終了後
場 所 第2学舎2号館6階 商学部会議室
議 題 2016年度事業経過報告・決算報告
2017年度事業計画予算案
その他

○講 演 会（商学部・商学会共催）

日 時 11月16日（木） 14時40分～16時10分
場 所 第2学舎3号館 E101教室
報告者 鶴塚 健氏（毎日新聞大阪本社地方部副部長 元テヘラン特派員）
テーマ 「紛争地でない中東・イスラム圏～国際ビジネスの視点を絡めて～」

日 時 12月11日（月） 14時40分～16時10分
場 所 第2学舎4号館 F402教室
報告者 樋口 友夫氏（(株)天彦産業 代表取締役社長）
テーマ 「会社の発展は社員の幸せから～社員第一主義経営のすべて～」

○講 習 会

日 時 12月4日（月） 13時～14時30分
場 所 第2学舎1号館 A501教室
報告者 4年生5人
テーマ 「就職セミナー：学生5人による就活体験談」

○研 究 会

日 時 1月24日（水） 11時30分～12時15分
場 所 第2学舎2号館C棟6階 商学部会議室
報告者 鶴田 廣巳氏（商学部教授）
テーマ 「BEPSと国際課税原則－ハイブリッド・ミスマッチを中心に－」

日 時 6月21日（水） 14時～15時
場 所 第2学舎2号館C棟2階 共通会議室2
報告者 英 邦広氏（商学部准教授）
テーマ 「日本の金融政策に関する一考察」

〈著 書〉

- 伊藤健市 『「やりがいのある仕事」と「働きがいのある職場」—ブラック企業を反面教師に—』 晃洋書房, 4月刊。
- Curtis H. Kelly “The War Between the States,” Seed Learning Inc. Sachse, Texas, USA, September.
“Salamis: The Battle that Saved Greece,” Seed Learning Inc. Sachse, Texas, USA, September.
- 杉本貴志 『格差社会への対抗 新・協同組合論』(編著) 日本経済評論社, 11月刊。
- 陶山計介 『よくわかる現代マーケティング』(編著) ミネルヴァ書房, 6月刊。
- 廣瀬幹好 『ビジネス・アイ【第2版】』文真堂, 3月刊。
『変革期のモノづくり革新』(共編著) 中央経済社, 9月刊。
- 藤岡里圭 『日本商業史—商業・流通の発展プロセスをとらえる』(共著) 有斐閣, 9月刊。

〈分担執筆〉

- 飴野仁子 「グローバル化・熟成化と日本の航空貨物輸送」池上寛編『アジアの航空貨物輸送と空港』第1章, アジア経済研究所 独立行政法人日本貿易振興機構, 31-66ページ, 1月刊。
「サプライチェーンの実態: 製造業のサプライチェーン、流通業のサプライチェーン」(共著) 苦瀬博仁編著『サプライチェーン・マネジメント概論～基礎から学ぶSCMと経営戦略～』第1章1-2, 1-3, 白桃書房, 5月刊。
「SCMにおける災害対策: 東日本大震災でのサプライチェーンの断絶」(共著) 苦瀬博仁編著『サプライチェーン・マネジメント概論～基礎から学ぶSCMと経営戦略～』同上書, 第15章15-2。
- 荒木孝治 「データの活かし方を知る」「よくわかる現代経営」編集委員会編『よくわかる現代経営〔第5版〕〕第XII章, ミネルヴァ書房, 164-177ページ, 3月刊。
- 岡 照 二 「企業グループ・マネジメントにおける環境会計—部分最適化から全体最適化へのシフト」園田智昭編著『企業グループの管理会計』第9章, 中央経済社, 137-155ページ, 12月刊。
「企業グループ・マネジメントにおける環境会計の実態調査—質問票調査を用いて」園田智昭編著『企業グループの管理会計』第10章, 中央経済社, 157-171ページ, 12月刊。
- 片岡 進 「現代経営とは」「よくわかる現代経営」編集委員会編『よくわかる現代経営〔第5版〕〕序章第4～6節, ミネルヴァ書房, 8-15ページ, 3月刊。
「コーポレート・ガバナンスを知る」「よくわかる現代経営」同上書, 第2章, 30-43ページ。
- 杉本貴志 「『格差』と『協同』」杉本貴志編『格差社会への対抗 新・協同組合論』序章, 日本経済評論社, 1-36ページ, 11月刊。
「働き方改革は福岡から 協同組合が挑戦する格差社会の『労働』」杉本貴志編『格差社会への対抗 新・協同組合論』第1章, 日本経済評論社, 39-65ページ, 11月刊。

〈分担執筆〉

- 杉本貴志 「協同組合の事業連合と連合会」（共著）杉本貴志編『格差社会への対抗 新・協同組合論』第10章，日本経済評論社，237-253ページ，11月刊。
「協同のコミュニティは東北から 協同組合の新地平」杉本貴志編『格差社会への対抗 新・協同組合論』終章，日本経済評論社，255-261ページ，11月刊。
- 陶山計介 「マーケティングとは何か」陶山計介・鈴木雄也・後藤こず恵『よくわかる現代マーケティング』序章，ミネルヴァ書房，2-9ページ，6月刊。
「マーケティング・パラダイムとブランド：マーケティングのパラダイム革新」同上書，第1部I，12-23ページ。
「マーケティングの新しいアプローチ：グローバルブランドのマーケティング戦略」同上書，第3部XI，136-145ページ。
「サービスのブランド戦略」同上書，第3部XII，146-157ページ。
「都市地域のブランド戦略」同上書，第3部XIII，158-167ページ。
- 徳永昌弘 「経済開発と公害・環境問題」松戸清裕編著『ロシア革命とソ連の世紀 第3巻（冷戦と平和共存）』第I部第2章，岩波書店，61-85ページ，8月刊。
- 西村成弘 「企業の歴史を知る」「よくわかる現代経営」編集委員会編『よくわかる現代経営〔第5版〕』第I章，ミネルヴァ書房，16-29ページ，3月刊。
- 藤岡里圭 「高度成長と大規模小売業の多様化」廣田誠・山田雄久・木山実・長廣利崇・藤岡里圭『日本商業史—商業・流通の発展プロセスをとらえる』第13章，有斐閣，245-266ページ，9月刊。
「流通政策と中小小売業の展開」同上書，第14章，267-282ページ。
「メーカー主導型流通システムの構築とその展開」同上書，第15章，283-300ページ。
「商業の歴史をさかのぼれば」同上書，エピソード，301-307ページ。
“Sourcing Competition across Industries: Japanese Department Stores and Global Fast Fashion”, Bram Bouwens, Pierre-Yves Donzé, and Takafumi Kurosawa (eds.), *Industries and Global Competition: A History of Business Beyond Borders*, Chap.8, Routledge, pp.175-193, September.
- 水野一郎 「有価証券と固定資産取引」関西大学会計学研究室編『簿記システムの基礎第5版』第10章，国元書房，77-84ページ，3月刊。
「現代中国会計の多面的・総合的研究—歴史的・比較制度的分析を踏まえつつ—」日本会計研究学会第76回大会 スタディ・グループ（研究代表：水野一郎）中間報告，分担1-20ページ，9月刊。
- 宮本京子 「AQIの検討(1) 監査人」町田祥弘編著『監査の品質指標(AQI)の検討』第4章，同文館出版，107-112ページ，12月刊。
「AQIの検討(2) 監査プロセス」同上書，第5章，148-159ページ，166-170ページ。
「AQIの開示・保証の方向性」同上書，第7章，243-258ページ。
- 村上啓介 「経営問題に対する科学的アプローチを知る」「よくわかる現代経営」編集委員会編『よくわかる現代経営〔第5版〕』第13章，ミネルヴァ書房，178-191ページ，3月刊。
- 横山恵子 「地域協働を促進するソーシャル・アントレプレナーシップ」長谷川直哉編著『価値競争時代の戦略的パートナーシップ』第1章，文眞堂，19-42ページ，3月刊。

〈分担執筆〉

- 横山 恵子 「アカデミック・アントレプレナーシップ」山田幸三・江島由裕編著『1からのアントレプレナーシップ』第7章, 碩学舎, 95-110ページ, 4月刊。
- 吉田 友之 「国際商取引契約とインコタームズ」(一社)日本インターナショナル・フレイト・フォワーダーズ協会編『国際複合輸送業務の手引(第9版)』第3章1節, (一社)日本インターナショナル・フレイト・フォワーダーズ協会, 59-94ページ, 10月刊。

〈論文〉

- 飴野 仁子 「日本企業の海外展開とグローバル人材育成の課題と展望」(共著)『関西大学商学論集』第62巻第2号, 関西大学商学会, 1-42ページ, 9月刊。
- 荒木 孝治 「新たなビジネス創生システムの開発」(共著)『品質』第47巻第4号, 日本品質管理学会, 17-24ページ, 10月刊。
- 伊藤 健市 「多数のゼロ消費費日を含む費目間ネットワークの分析」(共著)『関西大学商学論集』第62巻第3号, 関西大学商学会, 1-17ページ, 12月刊。
- 「追い出し部屋」が教えてくれること—「やりがいのある仕事」「働きたいのある職場」という視点で—『関西大学商学論集』第61巻第4号, 関西大学商学会, 1-24ページ, 3月刊。
- 「IRTストライキと全国市民連盟」『関西大学商学論集』第62巻第3号, 関西大学商学会, 19-72ページ, 12月刊。
- 岩崎 拓也 「経営者報酬の戦略的な開示」『企業会計』第69巻第4号, 中央経済社, 50-57ページ, 4月刊。
- 岩本 明憲 「オムニチャネル時代の New AIDA モデルとその理論的展開: コミュニケーション・ポートフォリオ・マネジメント」『日本マーケティング学会アニュアル・カンファレンス・プロシーディングス』第6巻, 362-374ページ, 10月刊。【査読付き】
- 小井川 広志 「日本企業の海外展開とグローバル人材育成の課題と展望」(共著)『関西大学商学論集』第62巻第2号, 関西大学商学会, 1-42ページ, 9月刊。
- 「BOPトラップからの脱出: 中国甘粛省農村調査から(上)」(共著)『関西大学商学論集』第62巻第3号, 関西大学商学会, 73-98ページ, 12月刊。
- 太田 浩司 「パネル分析におけるFama-MacBethとCluster-robustの手法の理論と応用」『関西大学商学論集』第62巻第2号, 関西大学商学会, 43-67ページ, 10月刊。
- 岡 照二 「環境会計から自然資本会計への新たな展開—新たな価値評価に向けて—」(共著)『原価計算研究』第41巻第2号, 日本原価計算研究学会, 134-145ページ, 9月刊。【査読付き】
- 「気候変動情報開示におけるCDPの役割」日本社会関連会計学会スタディ・グループ(委員長 中寫道靖)中間報告書『持続可能性社会を目指すための情報開示に関する調査研究』日本社会関連会計学会, 26-34ページ, 10月刊。
- 「SBSCのフレームワークに関する文献研究」日本社会関連会計学会スタディ・グループ(委員長 東田明)中間報告書『環境経営のためのマネジメント・コントロール・システムに関する研究』日本社会関連会計学会, 25-29ページ, 10月刊。

〈論 文〉

- 岡 本 真由美 「フレーミングとしての社内英語公用語」『商学論室』第64巻第4号，関西学院大学商学研究会，125-140ページ，3月刊。
「英語教育における邦画使用に関する一考察」『映画英語教育研究』第22号，映画英語教育学会，57-70ページ，3月刊。
- 奥 和 義 「貿易摩擦と「経済大国」化」石井里枝・橋口勝利編著『日本経済史』ミネルヴァ書房，259-279ページ，4月刊。
「バブル経済とその後」石井里枝・橋口勝利編著『日本経済史』ミネルヴァ書房，281-305ページ，4月刊。
- Curtis H. Kelly “On the Ball: Brain-Assisted Learning for the ELT Classroom. Part 2: No Sleep, No Learning”, *The English Connection, Korea TESOL* Vol. 21, 2, pp. 27-28, March.
“The Neuroscience of Stories: Why Our Brains Love Them”, *TESOL AI Forum : The Newsletter of Applied Linguistics Interest Section Newsletter*, TESOL International Association, March.
“The Brain Studies Boom: Using Neuroscience in ESL/EFL Teacher Training.”, *Innovative Practices in Language Teacher Education: Spanning the Spectrum from Intra- to Inter-personal Professional Development* Eds Gregerson, MacIntyre Springer ISBN: 978-3-319-51788-9, pp.79-99, September.
“The Neuroscience of Lesson Design”, Sojo University Teaching and Learning Forum 2016 Proceedings: Engaging Learners with Materials (Eds: Bollen & Morrow) pp7-18.
“The Brain on Stories (lead article)”, *Global Educators Organization (GEO) Academic Journal Philippines* <http://www.geoacademicjournals.com> Vol. 1, No. 1.
“On the Ball: Brain-Assisted Learning for the ELT Classroom. Part 2: Neuromyths”, *The English Connection, Korea TESOL*, Vol. 21, 3, pp. 25-27, September.
“Learning to Learn: Why Performance is not the Same as Learning”, *MindBrainEd Bulletin*, JALT Mind, Brain, and Education SIG Education SIG, Vol. 3 Issue 3, October.
“On the Ball: Brain-Assisted Learning for the ELT Classroom. Part 4: Movement”, *The English Connection, Korea TESOL*, Vol. 21, 4, pp. 24-25, December.
- 岸 谷 和 広 “Examining the Influence of Social Capital on e-WOM Behavior and Brand Experience for SNS Platform”, 2017 American Marketing Association Summer Educator’s Conference Proceeding, pp19-24ページ。
- 木 村 麻 子 “Sustainability Management Control Systems in the Context of New Product Development: A Case Study of a Japanese Electronics Company”, (co-authored) Proceedings of Melco Management Accounting Seminar, pp1-21, July.

〈論 文〉

- 木村麻子 「戦略経営におけるブランド・マネジメントと管理会計—日本企業の事例から—」
『戦略経営と管理会計に関する総合的研究 (最終報告)』堺昌彦, 日本会計研究学会
会特別委員会, 148-163ページ, 9月刊。
- 齊野純子 「中小企業をとりまく環境変化と会計基準」『経営分析研究』第33号, 45-52ページ,
3月刊。
- 杉本貴志 「協同組合と職員・労働者問題—その歴史と現状」『政経論叢』85巻5・6号 (中川
雄一郎教授古稀記念論文集), 明治大学政治経済研究所, 137-151ページ, 3月刊。
「協同組合職員についての予備的考察—いわゆる『日本型生協』を中心に」『協同
組合研究誌にじ』659号, 7-18ページ, 6月刊。
- 高井啓二 “On the use of the selection matrix in the maximum likelihood estimation of
normal distribution models with missing data,” *Communications in Statistics :
Theory and Methods*, Taylor & Francis, ページ番号未定。
“A framework of ASP for shopping path analysis,” (co-authored), *Proceedings
of IEEE Asia-Pacific World Congress on Computer Science and Engineering
(IEEE APWC on CSE 2017)*, ページ番号未定。
“The global distribution of watches: a network analysis of trade relations,” (co-
authored), *Proceedings of the 17th IEEE International Conference on Data
Mining Workshop (ICDMW2017)*, IEEE Computer Society Publications, ページ
番号未定。
- 高内一宏 “Rules of origin and uncertain compliance cost,” (co-authored), *Asia-Pacific
Journal of Accounting and Economics*, Taylor & Francis, forthcoming (SSCI)
(Web of Science 所収)
- 高屋定美 「マイナス金利政策の経験—ユーロ圏と欧州小国の経験から学ぶ—」ゆうちょ資
産研究, 第24巻, 105-132ページ, 11月刊。
- 田中孝憲 “Foreign directors and yield spreads: evidence from Japan”『立命館経済学』第
65巻第5号, 立命館大学経済学会, 179-191ページ, 3月刊。
“Foreign operations and yield spreads: evidence from Japan”『立命館経済学』第
65巻第6号, 立命館大学経済学会, 104-114ページ, 3月刊。
- 田村香月子 「米国ハイ・イールド債市場の構造分析」『証券経済学会年報』第51号別冊, 証券
経済学会, 1-7ページ, 2月刊。
- 辻美枝 「非課税取引 (1) —金融取引等」『消費税の研究: 日本税務研究センター公益財
団法人移行5周年記念号』日税研論集第70号, 日本税務研究センター, 261-318
ページ, 1月刊。
「保険会社の恒久的施設と所得の帰属—ドイツとの比較」『生命保険論集』第198号,
生命保険文化センター, 21-53ページ, 3月刊。
「国境を跨ぐ保険取引と米国の連邦消費税」『公法の理論と体系思考—木村弘之亮
先生古稀記念』信山社, 337-362ページ, 8月刊。
「年金・保険と租税」『高齢社会における租税の制度と法解釈』日税研論集第72号,
日本税務研究センター, 211-250ページ, 9月刊。

〈論 文〉

- 千葉 貴 宏 “Consumer Attitudes Toward Celebrity Advertising: Analysis Through Balance Theory,” *Information, Persuasion, Relationships, Power: The Many Functions of Media (Proceedings of the 3rd World Conference on Media and Mass Communication 2017)*, The International Institute of Knowledge Management, p. 29, April 2017 (with Haruka Arimoto, Eitaro Miura, and Shiori Watanabe).
 “How Brand Collaborations Change Customers’ Self-Brand Connections to High-Priced Brand,” *Innovation and Sustainability in Marketing (2017 American Marketing Association Summer Educators’ Conference Proceedings)*, Vol. 28, American Marketing Association, pp. B32-B37, August 2017 (with Hikaru Nozaki, Hitomi Fukui, and Makoto Okazaki).
- 徳 永 昌 弘 “The Determinants of Foreign Direct Investment in Transition Economies: A Meta-Analysis” (co-authored), *The World Economy*, Vol. 40(12), pp. 2771-2831, December.
- 中 嶋 道 靖 “Sustainability Management Control Systems in the Context of New Product Development: A Case Study of a Japanese Electronics Company”, (co-authored) *Proceedings of Melco Management Accounting Seminar*, pp1-21, July.
 「4. SASB (Sustainability Accounting Standards Board) の活動に関して」『持続可能性社会を目指すための情報開示に関する調査研究』(中間報告), 日本社会関連会計学会スタディグループ (主査: 中嶋 道靖), 19-26ページ, 10月刊。
- 西 岡 健 一 “Characteristics of Smart Interactive Services and Determinants of Adoption Intentions”, (co-authored), *Proceedings of 5th International Conference of Serviceology*, University of Vienna, 8 pages on USB. 【査読付き】
 「新たなビジネス創生システムの開発」(共)『品質』第47巻第4号, 日本品質管理学会, 17-24ページ, 10月刊。
- 西 村 成 弘 「明治後期大阪における工業所有権」『研究双書第165冊』(「近代アジアと関西経済」), 関西大学経済・政治研究所, 39-63ページ, 3月刊。
 「国際技術移転とイギリス電機産業の展開」『関西大学商学論集』第61巻第4号, 関西大学商学会, 25-41ページ, 3月刊。
 「両大戦間期アメリカ電機企業の研究開発と特許管理—GEとウェスチングハウス・エレクトリックの比較研究—」『関西大学商学論集』第62巻第2号, 関西大学商学会, 69-90ページ, 9月刊。
- 朴 泰 勲 「ダイハツの九州からインドネシアへの工場「移植」戦略」(共著)『九州国際大学経営経済論集』第23巻第1・2合併号, 九州国際大学経済学会, 27-49ページ, 3月刊。
- 馬 場 英 朗 “Visualizing Relief Funds Flow for the Great East Japan Earthquake: Trial Study to Construct an Inflow and Outflow Matrix Model” (co-authored) *Kansai University Review of Business and Commerce*, no.17, pp.1-25, March.

〈論文〉

- 馬場 英 朗 「公益法人会計基準の実務的課題—公益認定基準と健全な組織運営をめぐって」『商学論集』第62巻第1号, 関西大学商学会, 1-12ページ, 6月刊。
- 廣瀬 幹 好 「『工業経営技法の現状』と科学的管理」『商学論究』第64巻第1号, 関西学院大学商学研究会, 19-35ページ, 1月刊。
- 廣田 俊 郎 「社会的広がりをもつ変化をもたらし, 新たな役割と価値の創出をとまなうソーシャル・イノベーション」『関西大学商学論集』第62巻第1号, 関西大学商学会, 13-35ページ, 6月刊。
「多様な観点から提出された各種組織論についての分類枠組み」『関西大学商学論集』第62巻第3号, 関西大学商学会, 99-120ページ, 12月刊。
- 藤岡 里 圭 “Luxury Business”, (co-authored) *Oxford Research Encyclopedias: Business and Management*, Oxford University Press (online publication), pp.1-24, August.
「日本企業の海外展開とグローバル人材育成の課題と展望」(共著)『関西大学商学論集』第62巻第2号, 関西大学商学会, 1-42ページ, 9月刊。
- 水野 一 郎 「人本主義に基づく中小企業の管理会計」『関西大学商学論集』第62巻第2号, 関西大学商学会, 91-107ページ, 9月刊。
- 宮下 真 一 「消費財産業のサプライチェーン・マネジメントにおける在庫率変動の実証分析」『関西大学商学論集』第61巻第4号, 関西大学商学会, 43-70ページ, 3月刊。
- 宮本 京 子 「EUにおける監査報告書の拡充化に関する実態—オランダの事例分析を中心として」『月刊監査役』第662号, 日本監査役協会, 77-90ページ, 1月刊。
「フランスの制度・実務から見た監査・保証制度の将来的なあり方」『現代監査』第27号, 日本監査研究学会, 111-122ページ, 3月刊。
「AQIsの開示の枠組み」, 『監査の品質に関する研究』日本監査研究学会課題別研究部会, 339-346ページ, 9月刊。
- 村上 啓 介 “A new model and approach to electric and diesel-powered vehicle routing”, *Transportation Research Part E: Logistics and Transportation Review*, Volume 107, pp.23-37, November.
- 矢田 勝 俊 “A Framework of Recommendation System Based on In-store Behavior” (co-authored) *MISNC '17 Proceedings of the 4th Multidisciplinary International Social Networks Conference*, ACM, pp1-4, July.
“The Influence of Customer Movement between Sales Areas on Sales Amount: A Dynamic Bayesian Model of the In-store Customer Movement and Sales Relationship” (co-authored) *Procedia Computer Science* Volume 112, 2017, Elsevier, pp1845-1854, September.
“Model Selection for Financial Statement Analysis Comparison of models developed by using data mining technique” (co-authored) *2017 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC)* IEEE pp81-86, October.
- 横山 恵 子 横山恵子・後藤祐一・金井一頼著「アカデミック・アントレプレナーシップの新展開」『ベンチャーレビュー』No.29, 13-26ページ, 3月刊。

〈論 文〉

- 横 山 恵 子 「企業とNPOの組織間関係における協働価値創造と自己利益の関係性：共同開発事例の比較分析」『組織科学』Vol.50, No.3, 16-29ページ, 3月刊。

〈研究ノート〉

- 高 橋 望 「LCCのハイブリッド化と空港選択の変化」『KANSAI空港レビュー』No.464, (財)関西空港調査会, 25-27ページ, 7月刊。
- 崔 相 鐵 「シリーズ・マーケティングの思考の勧め②：eコマース時代における流通業界のオムニチャネル戦略」『架け橋』在日韓国商工会議所, 156号, 36-38ページ, 1月刊。
- 吉 田 友 之 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点11」『OITA Trade & Views』第110号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 10ページ, 1-2月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点12」『OITA Trade & Views』第111号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 6ページ, 3-4月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点13」『OITA Trade & Views』第112号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 8ページ, 5-6月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点14」『OITA Trade & Views』第113号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 6ページ, 7-8月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点15」『OITA Trade & Views』第114号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 10ページ, 9-10月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点16」『OITA Trade & Views』第115号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 6ページ, 11-12月刊。

〈資料・その他〉

- 飴 野 仁 子 「ロジスティクス最前線／近畿版(特集)」座談会「強みを創る、強みを生かす」モデレーター, 主催：物流ニッポン新聞社『物流ニッポン』3月27日付。
- 宇 恵 勝 也 「企業の外部資金調達と投資決定」『Working Paper』No. 35, 関西大学商学会, 5月10日。
- 小井川 広 志 「アジア企業の対日M&A投資：現状と課題」『アジア太平洋研究所資料 17-13』「中所得国の新展開」研究報告書, 33～53ページ, 3月刊。
- 太 田 浩 司 「会計と数の小話 学問ヒエラルキー」『企業会計』第69巻第1号, 中央経済社, 104-105ページ, 1月刊。
- 「会計と数の小話 対数変換」『企業会計』第69巻第2号, 中央経済社, 88-89ページ, 2月刊。

〈資料・その他〉

- 太田浩司 「会計と数の小話 囲い込み【Enclosure】」『企業会計』第69巻第3号, 中央経済社, 88-89ページ, 3月刊。
「会計と数の小話 天才フィッシャー」『企業会計』第69巻第4号, 中央経済社, 72-73ページ, 4月刊。
「会計と数の小話 格差社会と会計」『企業会計』第69巻第5号, 中央経済社, 72-73ページ, 5月刊。
「会計と数の小話 電力会社と慣れのバイアス」『企業会計』第69巻第6号, 中央経済社, 88-89ページ, 6月刊。
「会計と数の小話 電力会社と企業価値評価モデル」『企業会計』第69巻第7号, 中央経済社, 72-73ページ, 7月刊。
「会計と数の小話 好きこそ物の上手なれ」『企業会計』第69巻第8号, 中央経済社, 88-89ページ, 8月刊。
「会計と数の小話 マンション管理組合理事会の監事」『企業会計』第69巻第9号, 中央経済社, 88-89ページ, 9月刊。
「会計と数の小話 株式指標にみる習慣の怖さ」『企業会計』第69巻第10号, 中央経済社, 88-89ページ, 10月刊。
「会計と数の小話 米国株式の魅力」『企業会計』第69巻第11号, 中央経済社, 88-89ページ, 11月刊。
「会計と数の小話 フランスはベーコン?」『企業会計』第69巻第12号, 中央経済社, 88-89ページ, 12月刊。
- 岡本真由美 「大学入試改革—何が変わり試されるのか—」『英語 New Support』第28号, 東京書籍, 9ページ, 10月刊。
- 乙政正太 「会計情報と経営者報酬研究—報酬関連情報の拡充—」『Working Paper』No. 36, 関西大学商学会, 1-110ページ, 10月18日。
- 杉本貴志 「読み解き金融経済」『日本農業新聞』1月24日付。
「読み解き金融経済」『日本農業新聞』2月28日付。
「争論 農協はどうなる, どうする?」『くらしと協同』2017春号(第20号), 2ページ, 3月刊。
「(インタビュー 本間正義氏) なぜ総合農協は改革されなければならないのか」『くらしと協同』2017春号(第20号), 3-13ページ, 3月刊。
「(インタビュー 石田正昭氏) 政府の『農協改革』は何を意図しているのか」『くらしと協同』2017春号(第20号), 14-24ページ, 3月刊。
「特集 いま, 農協はどうなっているのか? ~協同組合としてのJAに学ぶ」『くらしと協同』2017春号(第20号), 25ページ, 3月刊。
「地域一体となって組合員のレベルアップを図る協同組合~JA浜中町の『エコ牛乳』を訪ねて」『くらしと協同』2017春号(第20号), 34-39ページ, 3月刊。
「杉本塾 生協は『消費者主権』を目指すべきなのか?」『第18回生協組合員理事トップセミナー報告集』通巻72号, くらしと協同の研究所, 45-49ページ, 3月刊。
「労働者協同組合とは何か~協同組合と営利企業は, どこが, どう違うのか?」『みんなのたより』(社会福祉法人ヘルプ協会) No.22, 1-2ページ, 5月刊。

〈資料・その他〉

- 杉本 貴志 「発刊に寄せて」『WELFARE』全労済協会, No.1, 5ページ, 7月刊。
「課題提起 3 未来への選択肢としての協同組合、協同組合としての生協」
『WELFARE』全労済協会, No.1, 52-55ページ, 7月刊。
「コープ・エキスポ2012が日本の運動に示唆するもの～協同組合の母国イギリスから考える」『協同組合運動研究会報』263号, 1-15ページ, 9月刊。
「解題 生協における職員・労働者～歴史と現状、研究の課題」『第25回総会記念シンポジウム特集 多様化する生協労働をどうとらえるか』（『季刊くらしと協同』2017年9月増刊号）, 3-9ページ, 9月刊。
「巻頭言 協同組合と営利企業、保険と共済とは、どこが違うのか？」『共済と保険』59巻10号, 2-3ページ, 10月刊。
「格差社会にいかに対抗するか」『評論』（日本経済評論社）, No.209, 1-3ページ, 10月刊。
「争論 こだわる生協、広がる生協」『くらしと協同』23号, 2ページ, 12月刊。
「（インタビュー 辰巳千嘉子氏）こだわるコープ自然派奈良は、どう広げようとしているのか」『くらしと協同』23号, 3-10ページ, 12月刊。
「（インタビュー 勝山暢夫氏）広がるいずみ市民生協は、どのようにこだわろうとしているのか」『くらしと協同』23号, 11-18ページ, 12月刊。
「特集 格差社会と生協」『くらしと協同』23号, 19ページ, 12月刊。
「座談会 組合員・職員と考える格差社会の組合員とくらし」『くらしと協同』23号, 20-37ページ, 12月刊。
- 高内 一宏 “Solving a hold-up problem may harm all firms: downstream R&D and transport price contracts,” (co-authored), *Graduate School of Economics, Kobe University Discussion Paper* No. 1707, March. (Working/Discussion Paper)
- 崔 相 鐵 「ダイエーの88円均一に足りなかったもの」『朝日新聞』夕刊6面, 7月19日。
「繁盛している日本の小売業態から何を学ぶか」『海外市場ニュース（ネット版）』韓国貿易公社（KOTRA）, <http://news.kotra.or.kr/user/globalAIBBs/kotranews>, 11月29日。
- 中 道 靖 「（コラム）マテリアルフローコスト会計」6 原価計算・管理会計編『簿記論・会計学講義で語るべき会計史』日本会計史学会スタディ・グループ最終報告, 57-58ページ, 11月刊。
- 中 邑 光 男 『New Favorite English Expressions I』（代表者）東京書籍, 2月刊。
『New Favorite English Expressions I 解説編』（編集者代表）東京書籍, 2月刊。
『ジーニアス総合英語』（代表者）大修館書店, 10月刊。
「staffはwasで受けるかwereで受けるか」『英語教育』Question Box, Vol. 65 No. 10, 77-79ページ, 1月刊。
「『(学校の) グランド』とplayground」『英語教育』Question Box, Vol. 65 No. 11, 78-80ページ, 2月刊。
「go cap [hat] in handについて」『英語教育』Question Box, Vol. 66 No. 1, 79-81ページ, 4月刊。

〈資料・その他〉

- 中 邑 光 男 「get [receive] a heavy blow to the jaw [in the stomach]について」『英語教育』 Question Box, Vol. 66 No. 2, 81-83ページ, 5月刊。
「過去形と過去進行形について」『英語教育』 Question Box, Vol. 66 No. 4, 81-82ページ, 7月刊。
「形容詞に続くthat節のshouldの有無について」『英語教育』 Question Box, Vol. 66 No. 5, 80-81ページ, 8月刊。
「circaの使い方について」『英語教育』 Question Box, Vol. 66 No. 7, 79-80ページ, 10月刊。
「こうして続ける、洋書の読書術」『英語教育』, Vol. 66 No. 8, 12-13ページ, 11月刊。
「〈play + 形容詞〉と〈play the + 形容詞〉の違いについて」『英語教育』 Question Box, Vol. 66 No. 8, 80-83ページ, 11月刊。
- 馬 場 英 朗 「公共サービスのインパクト評価と行財政改革」『セミナー年報2016』 関西大学経済・政治研究所, 103-112ページ, 3月刊。[研]
- 藤 岡 里 圭 「オランダの休暇文化から『働き方改革』を考える」『融』第25号, 大阪地域振興調査会, 53-54ページ, 7月刊。
- 宮 本 京 子 「フランスにおける非財務情報の監査・検証業務の枠組み」サステナビリティ情報審査協会 (<http://www.j-sus.org/>)
- 矢 田 勝 俊 「店舗内の時系列な王道が購買行為に与える効果に関する研究」(共著)『オペレーションズ・リサーチ』平成29年12月号第62巻第12号通巻684号, 2017, オペレーションズ・リサーチ学会, 17-22ページ。
「ベイジアンネットワークを用いた消費者行動モデルの構築実験」(共著)『オペレーションズ・リサーチ』平成29年12月号第62巻第12号通巻684号, 2017, オペレーションズ・リサーチ学会, 23-28ページ。
「スケールの階層性から探るスーパーマーケットの消費者行動」(共著)『オペレーションズ・リサーチ』平成29年12月号第62巻第12号通巻684号, 2017, オペレーションズ・リサーチ学会, 35-42ページ。
- 吉 田 友 之 「2016年度春季貿易講座(輸出入編)」テキスト, (一社)大分県貿易協会, 輸出編1-16および輸入編1-15ページ, 2月刊。
「2016年度春季貿易講座(輸出入編)」資料, (一社)大分県貿易協会, 1-12ページ, 2月刊。
「2017年度春季貿易実務セミナー(輸出入・入門編)」テキスト, 大阪商工会議所, 1-44ページ, 6月刊。
「2017年度春季貿易実務セミナー(資料編)」テキスト, 大阪商工会議所, 1-27ページ, 6月刊。
「2017年度貿易関係書類の読み方」テキスト, 大阪商工会議所, 1-19ページ, 7月刊。
「2017年度貿易関係書類の読み方」資料, 大阪商工会議所, 1-9ページ, 7月刊。
「2017年度インコタームズ2010を理解する」テキスト, 大阪商工会議所, 1-23ページ, 8月刊。

〈資料・その他〉

- 吉田友之 「2017年度インコタームズ2010を理解する」資料、大阪商工会議所、1-7ページ、8月刊。
- 「国際商取引契約とINCOTERMS」『平成29年度国際複合輸送士資格認定講座用テキスト（東京/大阪開催）』（一社）日本インターナショナル・フレイト・フォワードーズ協会、1-25ページ、10月刊。
- 「2017年度秋季貿易実務セミナー（輸出入・入門編）」テキスト、大阪商工会議所、1-44ページ、11月刊。
- 「2017年度秋季貿易実務セミナー（資料編）」テキスト、大阪商工会議所、1-27ページ、11月刊。

〈翻訳〉

- 伊藤健市 「草創期の全国市民連盟」『関西大学商学論集』第62巻第1号、関西大学商学会、79-113ページ、6月刊。
- 「全国市民連盟の活動—C・E・ボニットによる要約」『関西大学商学論集』第62巻第2号、関西大学商学会、109-166ページ、9月刊。

〈書評〉

- 木村麻子 小林啓孝著『ケース分析 エレクトロニクス産業 攻防のダイナミズム』（中央経済社、2017年）『産業経理』第77巻第3号、産業経理協会、114-115ページ、10月刊。
- 朴泰勲 設計組織による製品アーキテクチャの改変—非高付加価値・非先端技術分野における日本企業の製品開発組織—（向井 悠一郎）『中小企業年報』、大阪経済大学、38-39ページ、4月刊。
- 西村英俊・小林英夫著『ASEANの自動車産業』（勁草書房、2016）『中小企業年報』、大阪経済大学、57-58ページ、4月刊。
- 廣田俊郎 Stefan Kühl著『Organizations: A Systems Approach（Gower Publishing, 2013年刊）』『関西大学商学論集』第62巻第2号、関西大学商学会、167-201ページ、9月刊。

〈学会・研究会〉

- 岩崎拓也 「Discussion of “The real effects of accounting earnings attributes: Evidence from Japan”」日本経営財務研究学会第41回全国大会、関西大学、9月4日。
- 岩本明憲 「SDGsを主導するマーケティング『マーケティング』の刊行にあたって」（共同報告川上智子・鈴木智子）日本マーケティング学会、マーケティングカンファレンス2017、早稲田大学、10月22日。
- 「オムニチャネル時代の New AIDA モデルとその理論的展開：コミュニケーション・ポートフォリオ・マネジメント」日本マーケティング学会、マーケティングカンファレンス2017、早稲田大学、10月22日。
- 宇恵勝也 「企業の外部資金調達と投資決定」日本金融学会秋季大会、鹿児島大学、9月30日。
- 太田浩司 「Corporate Information」（司会）日本ファイナンス学会第25回大会、会場F 千葉工業大学、6月3日。

〈学会・研究会〉

- 太田 浩 司 「The Influence of Audit Quality on the Accuracy and Revision Speed of Management Forecasts: Empirical Evidence from Japan」(共同報告)日本ファイナンス学会第25回大会, 千葉工業大学, 6月4日。
辻晶弘氏報告「決算短信テキスト情報と業績予想」(コメンテータ)日本ファイナンス学会第25回大会, 千葉工業大学, 6月4日。
自由論題報告第2会場(司会)日本ディスクロージャー研究学会第15回研究大会, 東北大学, 6月25日。
「経営者の開示戦略における自社株買いの買付動機」(共同報告)日本経営財務研究学会第41回全国大会, 関西大学, 9月4日。
「The Need for Speed: A New Construct of Management Forecast Revisions in the Auditing Context」(共同報告)日本ディスクロージャー研究学会第16回研究大会, 法政大学, 12月17日。
「わが国におけるレピュテーション効果の検証」(共同報告)日本ディスクロージャー研究学会第16回研究大会, 法政大学, 12月17日。
- 岡 照 二 “New Corporate Information on Sustainability Performance, especially on Natural Capital Accounting in Japanese Companies,”(co-presented), 29th International Congress on Social and Environmental Accounting Research, St Andrews, Scotland, August 30.
- 岡 本 真由美 「日・英ビジネスメッセージは、異なるコミュニケーションスタイルを示すのか」国際ビジネスコミュニケーション学会 第77回全国大会, 東洋学園大学, 10月7日。
- 乙 政 正 太 日本会計研究学会 第76回大会 統一論題テーマ「経済環境の変化と会計研究の課題」第3報告「大規模データとしての会計情報と経営者報酬研究」広島大学, 9月23日。
- Curtis H. Kelly 全国語学教育学会-Executive Board Representative.
全国語学教育学会 脳科学・心理学と語学教育部会定款 一会長.
NeuroELT応用脳科学英語教育国際FAB学会-Board Member.
- 岸 谷 和 広 “Antecedent and Consequences of Value on Embedded Brand Sites on SNSs,” 16th International Conference on Research in Advertising (ICORIA), Ghent, June.
“Examining the Influence of Social Capital on e-WOM Behavior and Brand Experience for SNS Platform,” 2017 American Marketing Association, Summer Educator’s Conference, San Francisco, August.
- 木 村 麻 子 “Sustainability Management Control Systems in the Context of New Product Development: A Case Study of a Japanese Electronics Company,” (co-presented) Melco Management Accounting Seminar, Fukuoka University, July 4.
“Balancing between Environmental and Economic Rationality: Role of Environmental Manager,” (co-presented) CSEAR Conference 2017, St. Andrews University, August 30.

〈学会・研究会〉

- 齊野純子 「複式簿記と財務報告の乖離」日本簿記学会第33回全国大会，統一論題報告（統一論題：資産会計と複式簿記—財務諸表の表示と勘定科目をめぐって—）明治大学，8月25日。
- 杉本貴志 「協同組合と職員・労働者問題～その歴史と現状」JC総研 第51回公開研究会，飯田橋レインボービル，4月1日。
「生協における職員・労働者～歴史と現状，研究の課題」くらしと協同の研究所 第25回総会記念シンポジウム「多様化する生協労働をどう捉えるか？」同志社大学良心館，6月24日。
「非営利・協同の組織・事業・運動～その成果と課題」平成29年度第3回共済理論研究会，共栄火災海上保険株式会社 本社大会議室，10月30日。
「G・J・ホリヨーク～その生誕200年を機に，協同組合のあり方を考える」公益財団法人 生協総合研究所 公開研究会「英国とフランスの協同の思想と実践—ホリヨークとゴダン生誕200年を記念して」コープ御所南ビル，12月9日。
- 陶山計介 「今日におけるCRMの課題とブランド・ロイヤルティ構築」日本ダイレクト，マーケティング学会第16回全国研究発表大会，筑波大学東京キャンパス，6月24日。
「地域ブランドの現状と課題」「地域ブランドについて考える」日本流通学会30周年記念シンポジウム，熊本学園大学，9月16日。
- 高井啓二 “Parameter estimation with incomplete-data Fisher scoring method.”（英語セッション）統計関連学会連合大会 2017，南山大学，愛知県，9月4日。
“An incomplete-data Fisher scoring.” Hangzhou international statistical symposium（日中統計会議）. Hangzhou Huagang HNA Resort, China, November 2.
“The global distribution of watches: a network analysis of trade relations.”（co-presented），The 17th IEEE International Conference on Data Mining Workshop（ICDMW2017）. New Orleans, USA, November 18.
“A Framework of ASP for shopping path analysis”（co-presented），IEEE Asia-Pacific World Congress on Computer Science and Engineering（IEEE APWC on CSE 2017），Mana Island Resort and Spa, Fiji, December 11-13.
“An incomplete-data Fisher scoring method with an acceleration method.” The 10th Conference of the IASC-ARS/68th Annual NZSA Conference（IASC-NZSA 2017）. The University of Auckland, New Zealand, December 14.
- 高内一宏 “Transport efficiency, R&D with spillovers, and trade” 神戸経済学ワークショップ，神戸大学（六甲台キャンパス第3学舎），2月21日。
“Solving a hold-up problem may harm all firms: downstream R&D and transport price contracts” 日本経済学会春季大会，立命館大学 BKCキャンパス，6月25日。
- 高橋望 「統一論題：アライアンスの進化と空港の対応課題」日本港湾経済学会，立正大学品川キャンパス，9月17日。
「シンポジウム：アライアンス時代の海と空の港」日本港湾経済学会，立正大学品川キャンパス，9月17日。

〈学会・研究会〉

- 高屋定美 ECBの非標準的政策と出口戦略」松山大学金融研究会, 松山大学, 10月24日。
「マイナス金利政策の経験—ユーロ圏と欧州小国の経験から学ぶ」ゆうちょ財団, メルパルク東京, 9月22日。
「英国EU離脱とEU経済統合の今後」日本国際経済学会 関西支部研究会, 谷岡学園梅田サテライトオフィス, 5月20日。
「欧州のマイナス金利政策からの教訓」日本金融学会 国際金融部会, 関西大学梅田キャンパス, 4月8日。
- 田村香月子 「米国地方債市場とレベニュー債」関西大学経済・政治研究所, 第226回産業セミナー, 10月19日。
- 崔相鐵 「進化した続ける日本の小売業態」流通システム研究会, 関西大学梅田キャンパス, 3月26日。
「日・韓・中の商業政策の違いと新たな研究課題」アジアファミリービジネス研究会, 関西大学梅田キャンパス, 7月29日。
- 千葉貴宏 “Consumer Attitudes Toward Celebrity Advertising: Analysis Through Balance Theory,” (co-presented) The 3rd World Conference on Media and Mass Communication 2017 (MEDCOM2017), at Dorsett Grand Subang, Kuala Lumpur, Malaysia, April 21.
“How Brand Collaborations Change Customers’ Self-Brand Connections to High-Priced Brand,” (co-presented) 2017 American Marketing Association Summer Marketing Educators’ Conference, at San Francisco Marriott Marquis, San Francisco, California (CA), United States of America, August 6.
- 辻美枝 「年金・保険と租税」第6回「高齢社会における租税の制度と法解釈」共同研究会, 日本税務研究センター, 1月20日。
「国境をまたぐ保険取引と米国の連邦消費税」第76回関大租税法研究会, 関西大学梅田キャンパス, 1月21日。
「保険業の特殊性と恒久的施設帰属所得」租税論研究会, 京都大学吉田キャンパス, 2月27日。
「高齢化社会における保険の意義と課税」第79回関大租税法研究会, 関西大学梅田キャンパス, 4月22日。
「新興国と国際課税—BEPSへの日本の対応」第83回関大租税法研究会, 関西大学梅田キャンパス, 8月26日。
「国際金融取引の課税上の問題—利子控除制限を中心に—」立命館大学重点研究プロジェクト・第23回立命館大学税財政研究会, 立命館大学BKCキャンパス, 9月26日。
- 徳永昌弘 “The Determinants of Foreign Direct Investment (FDI)” Kyoto International Conference “Frontier of Transition Economics”, Campus Plaza Kyoto, February 24.
“Regime Change and Environmental Reforms in Central and Eastern Europe” Kyoto International Conference “Frontier of Transition Economics”, Campus Plaza Kyoto, February 24.

〈学会・研究会〉

徳永昌弘

“The Russian Arctic and Environmental Discourse” International Conference on “Social Issues and Economic Institutions in Russia”, Kyoto University, Kyoto, Japan, March 9.

“Regime Change and Environmental Reform in Central and Eastern Europe: An Analytical Survey of the Literature” Second World Congress of Comparative Economics, Higher School of Economics, St. Petersburg, Russia, June 17.

中 篤 道 靖

“The Present and Future Possibilities of Natural Capital Accounting in Japanese Companies”, (co-presented) the 29th International Congress on Social and Environmental Accounting Research, University of St Andrews Scotland, August 30.

“Sustainability Management Control Systems in the Context of New Product Development: A case study on a Japanese”, (co-presented) the 29th International Congress on Social and Environmental Accounting Research, University of St Andrews Scotland, August 30.

「マテリアルフローコスト会計（MFCA）およびスループット会計（TA）からみる既存の原価計算情報によるコスト削減目的の限界：企業利益向上の視点から」(共同報告)自由論題報告，日本原価計算研究学会第43回全国大会，関西大学，9月12日。

「MFCAによるマテリアルロス情報の意義：機会原価概念の適用拡張による新たな管理会計情報の確立に向けて」日本管理会計学会 第32回 関西・中部部会，名古屋学院大学，10月14日。

西 岡 健 一

“Characteristics of Smart Interactive Services and Determinants of Adoption Intentions” (co-presented), International Conference of Serviceology, University of Vienna, Vienna, Austria, July 13.

「製造業のサービス化戦略」(共同報告)日本商業学会関西部会，龍谷大学，10月14日。

西 村 成 弘

“Patent Strategy and Global Competition in the Electric Appliance Industry: Siemens (1880-1945)” (co-presented), The 2017 Meeting of the Business History Conference, Embassy Suites Denver- Downtown Convention center (US), March 31.

“Radio engineers in big business: How RCA organized R&D?” Association of Business Historians (ABH) 2017 Conference, Glasgow, UK, June 30.

“Global technology flows of Radio: How has RCA transformed the industry?” The 21st congress of European Business History Association, University of Economics and Business - WU (Austria), August 26.

「RCAの特許管理」経営史学会第35回全国大会，福井県立大学，10月21日。

「拙著『国際特許管理の日本的展開』をめぐって」第17回経営史学会東北ワークショップ，東北大学，11月18日。

〈学会・研究会〉

- 朴 泰 勲 「タイ・中国・メキシコにおける日系企業の深層の現地化に関する一考察：自動車メーカーの部品と金型の調達現地化」多国籍企業学会西部部会，関西大学，6月24日。
 “Managing Competency by Innovations with Allinace Complementarity and Effective Searches,” 韓国海洋ビジネス学会，関西大学，10月21日。
- 英 邦 広 「日本の金融政策に関する一考察」関西大学商学会，関西大学，6月21日。
 「マイナス金利政策導入による金融市場への影響」名古屋市立大学 経済学研究科火曜研究会，名古屋市立大学，7月14日。
 「マイナス金利政策導入による金融市場への影響」日本金融学会関西・歴史合同部会，甲南大学，11月11日。
- 廣 田 俊 郎 「社会システムの多面的組織化についての対抗的諸観点」2017年度社会・経済システム学会第36回大会，芝浦工業大学豊洲キャンパス，11月18日。
- 藤 岡 里 圭 “Expanding the Luxury Market and Adapting to Western Fashion in Japan after World War II”, The 2017 Meeting of the Business History Conference, Embassy Suites Denver- Downtown Convention center (US), March 31.
 “The Democratization of Luxury and the Expansion of the Japanese Market, 1960-2010”, Business History Seminar, BI Norwegian Business School (Norway), June 8.
 “The Development of Supermarkets in Partnership with Wholesalers in Japan: 1953-1982”, 29th Annual Conference of Society for the Advancement of Socio-Economics, University of Lyon 1 (France), June 30.
 “From cotton kimonos to the jeans industry: the development of denim industrial clusters in Japan”, Global Fashion Management Conference, University of Vienna (Austria), July 7.
 “Missed connections: designers, apparel makers, and fashion media in Tokyo since 1945” (with Pierre-Yves Donzé), the 21st congress of European Business History Association, University of Economics and Business-WU (Austria), August 25.
- 水 野 一 郎 「人本主義に基づく中小企業の経営と会計—人本主義管理会計の可能性—」会計学サマーセミナーin 九州，九州大学，8月9日。
 「中小企業会計における管理会計」中小企業会計学会第5回全国大会課題研究委員会（研究代表：水野一郎）中間報告，熊本学園大学，9月7日。
 「現代中国会計の多面的・総合的研究—歴史的・比較制度的分析を踏まえつつ—」日本会計研究学会第76回大会 スタディ・グループ（研究代表：水野一郎）中間報告，広島大学，9月22日。
 「人本主義に基づく経営と会計—人本主義管理会計の可能性—」第22回日中社会経済国際シンポジウム，久留米大学経済学部，11月11日。
- 宮 崎 慧 「製品カテゴリーと複数ブランド購買の段階型同時分析動的モデルの拡張と識別性について」日本行動計量学会第45回大会，静岡県立大学，9月1日。

〈学会・研究会〉

- 宮崎 慧 “The global distribution of watches: a network analysis of trade relations.” (co-presented), The 17th IEEE International Conference on Data Mining Workshop (ICDMW2017). New Orleans, USA, November 18.
 “A Framework of ASP for shopping path analysis” (co-presented), Asia Pacific World Congress on Computer Science and Engineering 2017 (APWC on CSE 2017), Mana Island Fiji, December 11-13.
- 宮本京子 「財務報告の信頼性確保はどう進化しているのか」日本監査研究学会第40回西日本部会 統一論題報告, 立命館大学, 7月1日。
 「EU等における環境情報の開示・保証」環境省・環境情報開示のあり方研究会, TKP新橋カンファレンスセンター, 11月7日。
- 矢田勝俊 “A Framework of Recommendation System Based on In-store Behavior” The 4th Multidisciplinary International Social Networks Conference (MISNC2017) Bangkok Thailand, July 17.
 “The Influence of Customer Movement between Sales Areas on Sales Amount: A Dynamic Bayesian Model of the In-store Customer Movement and Sales Relationship” KES2017 Marseille France, September 7.
 “Model Selection for Financial Statement Analysis: Comparison of Models Developed by Using Data Mining Technique” IEEE SMC2017, Banff Canada, October 5.
 “A Framework of ASP for shopping path analysis” Asia Pacific World Congress on Computer Science and Engineering 2017 (APWC on CSE 2017), Mana Island Fiji, December 11-13.

〈講演会〉

- 荒木孝治 「学生によるビジネス課題の解決」はりま産学協会関西大学イノベーション創生センター見学会, 関西大学イノベーション創生センター, 7月14日。
 「データに基づく問題解決」政策評価に関する統一研修 (大阪会場)・総務省近畿管区行政評価局主催, 公益社団法人国民會館武藤記念ホール, 11月1日。
 「愚者は経験に学び, 賢者は歴史に学ぶ」日本規格協会関西支部「QCサロン」(一財)日本規格協会関西支部, 12月19日。
- 岡 照二 「ビジネスにおいて、なぜサステナビリティは重要なのか？」関西大学キャリアセンター, 関西大学, 11月16日。
- Curtis H. Kelly “The Five Stages of Writing” NUFSS Workshop, Nagoya University of Foreign Studies, Nagoya-shi, January 14.
 “Mind/brain/education in Esl/Efl” TESOL 2017 International Convention, Seattle, WA, March 22.
 “The Neuroscience of Stories: Why Our Brains Love Them” TESOL 2017 International Convention, Seattle, WA, March 22.

〈講演会〉

Curtis H. Kelly

“What Neuroscience Tells Us about Language Learning” (plenary) 2017 KOTESOL National Conference, Korea TESOL, Seoul, w/ Robert Murphy, May 13.

“What Neuroscience Tells Us about Language Teaching” (plenary) 2017 KOTESOL National Conference, Korea TESOL, Seoul, w/ Robert Murphy, May13.

“Colloquium: TESOL in Korea & Beyond: Advances Made, Directions Forward” 2017 KOTESOL, National Conference, Korea TESOL, Seoul . May 13.

“The Brain is Built for Stories: Using them in ELT” KitaKyushu JALT Chapter, Kitakyushu, June 10.

“Simulations to Study Business English” JALT BizCon, Business Communication SIG, Kansai University, July 1.

“What is Attention?” National Geographic Young Learners Conference, National Geographic Learning, Kansai University, Osaka, August 19.

“What is Attention?” National Geographic Young Learners Conference, National Geographic Learning, Tokyo, August 20.

“The Power of Stories” Sendai JALT Chapter, Sendai, September 23.

“Stories and the Brain” BRAIN-CT Tokyo Conference, Tokyo JALT Chapter, September 24.

“The Neuroscience of Stories: Why Our Brains Love Them” Oxford Day, Oxford University Press, Keio University, October 22.

“Stories: The Perfect Frame for Learning” (plenary) Framing Minds International Conference, Università degli studi di Napoli “L’Orientale”, Naples, October 26.

“Digitales and Neuroscience Workshop” Framing Minds International Conference, Università degli studi di Napoli “L’Orientale”, Naples, October 27.

“Stages of EFL Writer Development: Sentences to Short Compositions 1” Cambridge Day, Cambridge University Press, Tokyo, November 5.

“Stages of EFL Writer Development: Sentences to Short Compositions 2” Cambridge Day, Cambridge University Press, Tokyo, November 5.

“English Presentation Training: Improve your Skills in One Day” Saturday College Workshop, Kansai University, November 18.

“New Insights on Learning From Neuroscience” Mind, Brain and Education SIG Forum, JALT International Conference, Epoch Conference Center, Tsukuba, November 19.

“Teaching Foreign Culture: The Workplace” Materials Writers SIG Forum, JALT International Conference Epoch Conference Center, Tsukuba, November 19.

“English Presentation Training: Make Presentations like Steve Jobs” Saturday College Workshop, Kansai University, November 25.

〈講演会〉

Curtis H. Kelly

“English Presentation Training: Use your Voice to Move People” Saturday College Workshop, Kansai University, December 2.

“Storytelling in the Classroom” Teaching English Program, International University of Japan, Urasa, Niigata, December 8.

“Become a Powerful Storyteller” Teaching English Program, International University of Japan, Urasa, Niigata, December 8.

“English Presentation Training: Experience the Power of Stories” Saturday College Workshop, Kansai University, December 9.

“Dealing with Difficult Students” Kobe JALT Chapter, Kobe, December 16.

杉本貴志

「生活協同組合は社会課題といかに対峙すべきか～世界と日本の協同組合史から考える」生活協同組合コープあいち・コープこうべ合同6年目職員コープこうべ協同学苑研修, コープこうべ協同学苑, 2月9日。

「協同組合の歴史とヨーロッパの生協, そして日本の生協運動に思うこと」地域と協同の研究センター 第4期 組合員理事ゼミナール 第5回, 全労済愛知県本部(アビタン) 大ホール, 3月3日。

「生活協同組合とは何か～生協の『始まり』と『課題』から考える」大阪いずみ市民生活協同組合新入協職員研修, 大阪いずみ市民生活協同組合, 3月27日。

「労働者協同組合とは何か～協同組合と営利企業は, どこが, どう違うのか?」社会福祉法人ヘルプ協会職員研修, 社会福祉法人ヘルプ協会ぐるーりあ, 3月27日。

「協同組合とは何か? いま生協と組合員理事に期待される役割」生活クラブ京都エル・コープ2017年度理事研修, 生活クラブ京都エル・コープ西センター, 4月3日。

「協同組合の誕生と展開～大学生協に期待される役割を考えるために」大学生協関西北陸ブロック主催賀川豊彦研修ツアー2017, コープこうべ協同学苑, 6月11日。

「協同組合の原則とこれからの生協への期待～生協運動の『原点』と『現状』から考える」生活協同組合連合会コープ九州事業連合2017年度次世代リーダー育成学校, グローバルアリーナ(福岡県宗像市), 6月22日。

「協同組合史1～生協の母国イギリスの生協運動から学ぶ」第3期「協同の未来塾」第1回, ワークライフ・プラザれあろ, 6月30日。

「協同組合史2～日本の生協運動の『歴史』と『現状』から考える」第3期「協同の未来塾」第1回, ワークライフ・プラザれあろ, 6月30日。

「協同組合の社会的役割を考える～生協の母国イギリスと日本の生協」奈良県生活協同組合連合会2017年度生協組合員理事交流会, 大和郡山口市市民交流館, 7月10日。

「コープ・エキスポ2012が日本の運動に示唆するもの～協同組合の母国イギリスから考える」 「社会的連帯経済の現状と今後」シンポジウム, 大阪市立東淀川区民会館, 7月22日。

「協同組合の歴史と日本の生協運動への期待」地域と協同の研究センター第9期共同購入事業マイスターコース 第2回, ワークライフ・プラザれあろ, 7月29日。

〈講演会〉

- 杉本貴志 「協同組合の原点とは？ 大学生協に期待される役割を考えるために」全国大学生活協同組合連合会関西北陸ブロック全体専務理事会議，大学生協大阪会館，8月4日。
「生活協同組合とは何か～生協の『始まり』と『課題』から考える」生活協同組合コープあいち2017年度コープこうべ協同学苑研修，コープこうべ協同学苑，9月25日。
「協同組合としての全労済を考えるために～『共益』と『公益』をめざす組織で働くということ」2017年度全労済関西統括本部主催新任役員(非常勤役員)研修会，大阪新阪急ホテル，10月4日。
「出資・利用・運営の三位一体を歴史から学ぶ～ロッチデールの時代から」くらしと協同の研究所第19回 生協組合員理事トップセミナー 基調講演，コープイン京都，12月2日。
- 陶山計介 「地域プラントと“やきもの”まちづくり」佐賀大学肥前セラミック研究センター講演会，佐賀大学，9月15日。
- 高橋望 「大阪国際空港の活性化について」豊中市議会空港問題調査特別懇談会，豊中市議会，2月1日。
「LCCの進化とFSCの競争的対応」神戸空港利用促進協議会平成29年度総会講演会，神戸商工会議所，8月17日。
- 崔相鐵 「日本経済の成果配分現況と日本中小企業の労使間価値共有事例」韓国中小企業学会・日本研修団，関西大学経商研究棟，4月25日。
「日本消費市場の特徴と韓国企業への提言」延世大学グローバル教育院・2017学年度秋期最高位課程・日本ワークショップ，日本ケミカル・シューズ工業組合，11月24日。
「日本市場への参入戦略」韓国経済新聞・第1期日本専門家最高位課程生，韓国国民団兵庫県地方本部，12月8日。
- 中 道 靖 「価値創造を実現するMFCAアプローチ：ISO 14052, ISO 14053の最新動向」日本MFCAフォーラム・セミナー「環境と経済をつなぐ国際的枠組み：新たな価値創造へ向けてISO14007, ISO14008, ISO14052, ISO14053, ISO 14097の最新動向」関西大学・東京センター，6月29日。
“MFCA Concepts and Methodology”, Session 1: MFCA concepts, methodology and its impact to productivity and sustainability, International Conference on Material Flow Cost Accounting (MFCA), National Iranian Productivity Organization (NIPO), Teheran Iran, September 19.
“Expanding MFCA - Trend, Potential and Future Application”, Session 3: Sustaining MFCA and Opportunity for expanding the Implementation, International Conference on Material Flow Cost Accounting (MFCA), National Iranian Productivity Organization (NIPO), Teheran Iran, September 20.
「マテリアルフローコスト会計 (MFCA)：環境配慮とコスト低減の両立」 「逸品」ものづくり経営塾 (逸品塾)，同志社大学 (寒梅館)，12月8日。

〈講演会〉

- 中 邑 光 男 「ペーパーバックを読み、考え、調べ、楽しんだこと」六甲英語学研究会，龍谷大学大阪梅田キャンパス，9月24日。
- 長谷川 伸 「陸前高田と縁結ぶプラットフォームとしての『聞き書き』」「陸前高田の農業女子と産地直売所の魅力を発信する国際プログラムeJIP.jp」陸前高田グローバルキャンパス大学シンポジウム2017，岩手県陸前高田市，1月21-22日（ポスター発表）。
「旅するオレンジジュース—国際ビジネスとの出会い」関西大学高大连携Kan-Dailセミナー，済美高等学校，愛媛県松山市，6月23日。
- 馬 場 英 朗 「公益法人会計の基礎知識と運営上の留意点について」全国公益法人協会（関西地区定例講座），大阪リバーサイドホテル，4月17日。
「社会的インパクト評価の普及に向けて—実践を通じての課題と今後の展望」会津大学短期大学部・NPO法人コースター（社会的インパクトセミナー2017），コラッセふくしま，7月8日。
「社会的価値評価におけるSROIの意義」建設コンサルタンツ協会（参加型計画専門委員会講習会），CIVI研修センター新大阪東，9月4日。
- 廣 瀬 幹 好 「『ビジネス・アイ』のめざすもの」ビジネス基礎特別講義，大阪市立大阪ビジネスフロンティア高校，6月7日。
- 藤 岡 里 圭 “Information sharing in supply chain: Japanese case”, Symposium: A Global Perspective on IT and Retail Convergence, Research Network for Retailing & Living, Seoul National University (Korea), June 28.
- 水 野 一 郎 「中小企業における管理会計の現状と課題—事例を中心として—」第2回優良中堅・中小企業研究シンポジウム，国士舘大学，2月11日。
「以人为本经营与中小企业」，合肥工業大学経済学院，6月1日。
「人本主義経営と中小企業管理会計」，専修大学商学部，6月14日。
「日本の非営利組織現状と対策研究」，湖南大学法学院，10月26日。
「日本の非営利組織現状と対策研究」，湘潭大学商学院，10月27日。
- 矢 田 勝 俊 「データ利活用の魅力と落とし穴」ジャストシステムセミナー，大阪，3月1日。
「流通業におけるデータサイエンスとのつきあい方」日本流通産業㈱，大阪，5月10日。
“Marketing and the Uses of Big Data” Asia Pacific for Computing and Information Technology (APSCIT2017) Hokkaido Japan, July 30.
「境界を越えるデータサイエンスとマーケティングモデル」2017年度第3回オギノFSP研究会，山梨，9月12日。
「データマイニングのビジネス応用における諸問題」日本オペレーションズ・リサーチ学会，大阪，9月13日。
「データ分析とマーケティングモデルの発展」コープさっぽろ，北海道，12月1日。

執筆者紹介

(論文掲載順)

伊藤健市	関西大学商学部	教授
宇恵勝也	関西大学商学部	教授
小井川広志	関西大学商学部	教授
賈心宇	関西大学大学院 商学研究科 博士課程前期課程	大学院生
英邦広	関西大学商学部	准教授
宮下真一	関西大学 政策創造学部	教授
吉田友之	関西大学商学部	教授
大倉雄次郎	関西大学	名誉教授
大橋昭一	関西大学	名誉教授

「関西大学商学論集」投稿規程

[2003年5月14日制定]

(目的)

第1条 この規程は、関西大学商学会（以下「商学会」という）発行の機関誌『関西大学商学論集』（以下『商学論集』という）への投稿に関わる事項を定める。

(刊行および原稿締切)

第2条 『商学論集』は原則として年4回、6・9・12・3月に刊行する。原稿の締切は刊行月の2ヵ月前とする。

(投稿資格)

第3条 『商学論集』への投稿資格を有するのは、原則として「関西大学商学会規則」に定める商学会の次の会員とする。

1. 正会員
2. 名誉会員
3. 関西大学大学院商学研究科に在籍し、別に定める要件を満たす学生会員

(第3条に該当しない投稿者)

第4条 第3条に該当しない会員および非会員の投稿原稿は、商学部正会員の推薦があり、かつ商学会常任委員会で掲載を認められた場合に掲載する。

(投稿の要件)

第5条 執筆者は、研究遂行過程において、「関西大学研究倫理規準」を遵守する。
1. 『商学論集』に投稿できる原稿は、未投稿のものに限る。

(著作権)

第6条 『商学論集』に掲載された原稿の著作権は執筆者が有する。ただし、原稿の二次利用としての電子化利用の権利は、掲載時点で執筆者が商学会に許諾したものとす。

(原稿料)

第7条 執筆者には、次項に従い、別に定める所定の原稿料を支払う。
1. 原稿料は論文と論文以外(書評・資料・研究ノート・翻訳等)に分けて定める。
2. 名誉会員には、商学会からの依頼の場合を除き、原稿料を支払わない。

(抜き刷り)

第8条 執筆者には100部の抜き刷りを無料で進呈する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、投稿に関して必要な事項は別に定める。

附則1 この規程は、2003年5月14日から施行する。

附則2 この規程の施行に伴い、次を廃止する。

1. 商学会非会員投稿規程
2. 名誉会員の投稿規程

附則3 この規程は、2004年10月13日に改訂し、2005年4月1日から施行する。

附則4 この規程は、2007年5月9日に改訂し、2007年6月1日から施行する。

附則5 この規程は、2008年7月9日に改訂し、2008年8月1日から施行する。

附則6 この規程は、2011年5月11日に改訂し、2011年6月1日から施行する。

附則7 この規程は、2015年2月25日に改訂し、2015年4月1日から施行する。